

ふれて ささえて まちづくり

ふれあい ネットワーク

社協だよりは、共同募金の
配分金により発行されています。

もろやま 社協だより

社協は「ふくしのまちづくり」をすすめるための公共性・公益性
の高い民間の福祉団体です。

平成 25年3月20日 発行

◆ もくじ ◆

- ★ 特集『給食サービス』…2～3
- ★ 赤い羽根募金・歳末たすけあい募金の報告……4～5
- ★ ボランティアセンターだより……6～7
- ★ お知らせ ……………8

第77号



高齢者困りごと協力会員研修

「介護予防体操」
の様子



平成25年度より
『社協だより』の
発行日が変わります!!

7月1日・10月1日

1月1日・4月1日



約10kgの重りをつけた
高齢者疑似体験も
行いました!

平成24年6月号より掲載してきたお弁当配達ボランティア特集。4回目となる今号では、ボランティアの方に、活動を始めたきっかけ、活動をとおして感じていることについてお話を伺いました。

お弁当配達 ボランティア特集



大野昭男さん
AKIO OHNO

★何かお役に立ちたい

「昨年の3月に鉄道会社を退職し(何かしたいな)と思っていたところ『社協だより』で『お弁当配達募集』の記事を見つけたのがきっかけだよ」と、穏やかに語ってくれた大野さん。ボランティア活動に参加してみよう事など伺ってみました。

「行動を起こしたくても自分だけではなかなか…社協を通して、お年寄りや身体の不自由な人達の何かお役に立ちたいから。これまで日本を作ってきてくれたのも、そういうお年寄りの方たちのお陰なのだから…」と頼もしい口調で意気込みを語ってくださいました。

また実際の活動について伺うと、「お弁当配達で回っていて、顔の表情や声などで体調の良さがわかります。常にそんな所に注意しています。渡す時、元気がない姿を見るのはちよつと辛くてね…」

留守の時でも時間をおいてから再度回ってみるんだ、なるべく温かいお弁当を直接手渡ししたいから。」

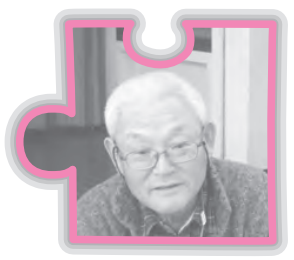
★話すうちに打ち解けてくる

金婚式の送迎ボランティアもして下さった大野さんに、気をつけていることについて聞くと、「事前に住所確認のため回っておきます。当日遅れず迷惑を掛ける事なく済むから」と、常に相手の気持ちを思うことを忘れません。

「接愛業だったせいか、人と話すのは苦手ではない。最初はなかなか声が出ないけど、話すうちに打ち解けてくる」と語る大野さんは“出会い”を大切にしているとのこと。私生活では庭作りしたり、奥様とお味噌やこんにゃくも作るとか、お孫さんのお話になると、優しいおじいちゃんのお顔に変わり、いつもと違った一面も伺えました♪



▲大野さんのご自宅にて



海老原修一さん
SHUICHI EBIHARA

★作業の後の「ちせう！」

「お弁当配達ボランティアでルート配達(社協↓各拠点・個人宅)をして下さる海老原さんは、タクシー運転手経験者。そんな頼もしい海老原さんがボランティア活動に初めて参加されたのは、NPO法人主催の「里山ボランティア」だったそうです。

「タクシー運転手時代、テレビで木の伐採や植樹のボランティアを知り、仕事をしながら出来るボランティアとして活動を始めました。週一回(主に土曜日)ペースで、若者たちに生活や文化を伝えたり、木の伐採作業を数十名で行う。その後に食べるイノシシ鍋や鹿鍋がまた美味くてね♪」と語る海老原さん。「ボランティア仲間がうちの畑も手伝ってくれるんだ」とのこと、他のボランティア仲間との交流の楽しさも教えてくださいました。

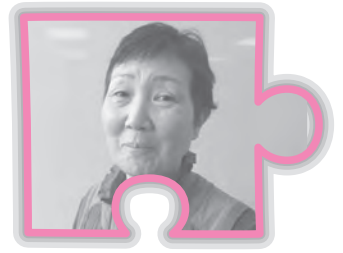
★喜んでくれたら嬉しい

「お弁当配達ボランティアは『社協だより』を見て興味を持ったのがきっかけ。利用者さんを助けているつもりはないよ！逆に元氣もらってるからね。楽しみに待っていてくれるから嬉しいよ。唯一心配なのは…利用者さんとの会話が盛り上がると次への配達時間が遅くなってしまうんだ、そのくらいかな(笑)」。また、「お弁当配達(の活動時間)2時間位で終わってしまう、せつかく来るならもう少し活動したいと感じることもあるよ」と、ハツツとした口調で！

配達後、ボランティアさん同士お話する機会も増え始め、みなさんの笑顔と笑い声に元気をいただいています！



INTERVIEW



福地和子さん

KAZUKO FUKUCHI

★参加してから
前向きな気持ちに！

「お弁当配達ボランティア」に昨年12月からご協力いただいている福地さんは、多方面でボランティア活動をしています。いつも明るく笑顔が素敵な福地さん。活動を始めたきっかけと、ボランティアへの思いを手紙にしてくださいました。

「主人が難病を発症してから15年間、訪問看護さんを始め、多くの往診治療、福祉用具、そして役場や社協等…、本当に数えきれない方々のサポートにより、私達夫婦は在宅で病と闘い、介護する事が出来ました。とても有難く、心から深く感謝しています。主人を亡くして空っぽになってしまった私の心が、熱中症予防で近所まで来たからと社協の方が声をかけてくれたのがきっかけでボランティア

を始めました。デイサービス、視覚障害者の講演会、保育ボランティア、お弁当配達をして出会った方々に、元気や勇気をいただき、明るく前向きな気持ちに。優しい笑顔で『ありがとう！』と言っていた。た時は、嬉しくてまた会いに來たいと思います。そして、今も病と闘っている方や、支えている家族の方のために、少しでも力になれば、役に立てたらと思うのです！

先日、認知症サポーター研修に参加し、私もサポーターの一人になりました。これからは認知症の患者さんが増え、支える家族も増えるので、見守る多くの目が必要になると聞きました。私もその目の二つになろうと思います。

『一読・十笑・百吸
千字・万歩』

脳を活性化させるのに『読む、笑う、深呼吸する、字を書く、沢山歩く』が良いとか。『誰かの役に立ちたい』という心でつながっているボランティア仲間とおしゃべりは、とても楽しくて、これも認知症の予防になっていると思っています。『お手紙ありがとう』と書いていました。

社協より一言…

4回に渡り掲載してきました、「お弁当配達ボランティア特集」。今号で一度最終回となります。今回みなさんにお話を伺ったなかで、共通していた言葉がありました。「楽しみ」「仲間との交流」「笑顔」の3つです。様々なボランティア活動の中で、自身が「楽しみ」、活動の中で出会った仲間と「交流」をし、「笑顔」になれる。みなさまの生活の中で、人と人が「つながる」「ひとつのきっかけ」として、ボランティア活動が行われていました。

社協では、これからも毛呂山町の人と人が「笑顔」で「つながる」きっかけのひとつとなるよう、様々な活動を行っていきます。ボランティア活動について、興味のある方は、是非社協までご連絡ください。

お弁当配達ボランティア 大募集中!!

給食サービス事業で、金曜日の昼食を高齢者のお宅に配達して下さるボランティアさんを募集します。

対象者

町内在住でボランティアに興味、関心のある方



《何人でも可♪》

内容

金曜日の11時～12時の時間帯に高齢者のお宅にお弁当を配達する活動

問合せ



毛呂山町社会福祉協議会 TEL. 295-3111



平成
24
年度

あたたかい気持ちをありがとうございますございました

赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金

「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」は、町民のみなさんのあたたかいご支援、ご協力をいただき、大きな成果をあげることができました。

この運動にご尽力いただきました福祉委員(区長)さんや各地区の役員さんを始め、奉仕団の方々に深く感謝を申し上げます。町民のみなさんからお寄せいただきました貴重な募金は、地域の社会福祉活動や社会福祉施設の整備などの財源として役立てさせていただきます。

赤い羽根共同募金

◆運動期間 10月1日～12月31日
◆募金総額 3,141,114円

【募金内訳】

戸別募金 2,551,088円
街頭募金 87,389円
職域募金 395,376円
学校募金 88,648円
寄付金 18,613円

◆配分予定

◎毛呂山町社協へ(募金額の50%)

1,571,000円

◎県内福祉施設等・災害積立

1,570,114円

お寄せいただいた募金はすべて、埼玉県共同募金会を通じて、各市町村の社会福祉協議会や県内の社会福祉施設・団体等に配分されます。また、募金の一部は災害等準備金として積み立てられ、災害・緊急時に使われます。なお、平成24年度にお寄せいただいた募金の活用方法につきましては、『社協だより』でご報告いたします。

平成23年度 赤い羽根募金の配分報告

平成23年度の共同募金につきましては、埼玉県共同募金会を通じて、県内の市町村社会福祉協議会や民間の社会福祉施設等へ配分されました。

このうち毛呂山町社協の配分額につきましては、1,562,000円で、主に地域福祉活動等の事業費に使用させていただきました。

【事業内容】

- ◆子育て支援事業
- ◆金婚夫婦(結婚50年)祝い事業
- ◆社協だより発行事業
- ◆災害等緊急支援事業
- ◆福祉教育推進事業

歳末たすけあい募金

◆運動期間 12月1日～12月31日
◆募金総額 1,988,748円

【募金内訳】

戸別募金 1,871,504円
寄付金 117,244円
※前年度繰越金 211,557円

歳末たすけあい募金 配分事業報告

みなさまから寄せられた募金・寄付金は、埼玉県共同募金会に送金・報告した後、配分対象及び配分方法を配分委員会で決定し、地域の民生委員を通じて、町内の要援護世帯と社会福祉施設に配分いたしました。

◆配分総額 1,779,068円
◆配分内訳

【在宅要援護世帯】

- ・単身高齢者おせち料理宅配 418件 535,040円
- ・低所得世帯援護金 75件 1,075,000円
- ・ひとり親家庭新入学祝品 4件 40,000円

【町内の施設】

- ・施設慰問品 12施設 73,780円
- 《ふれあいの里とんぐり、神愛ホーム、(救)育心寮(児)育心寮、光風寮、第2光風寮、第3光風寮、悠久園、報恩施設、松山荘、光の家、ななふく苑》

【配分実費諸経費】

- ・賃借料等 15,248円

【その他】

- ・県共募諸経費分 40,000円
- ※次年度繰越金 421,237円

平成24年度の実績

順不同・敬称略

赤い羽根共同募金 **3,141,114円**

赤い羽根共同募金個人大口募金

寄付者・団体名	金額
嶋崎 喜久子	8,613 円
中島 一夫	10,000 円
合 計	18,613 円

赤い羽根共同募金職域募金・協力団体

寄付者・団体名	金額
学校法人 埼玉医科大学	140,308 円
社会福祉法人 毛呂病院	27,507 円
毛呂山町民生委員・児童委員協議会	43,000 円
毛呂山町役場・出先関係機関	80,167 円
(社福) 育心会	43,175 円
(社福) 埼玉聴覚障害者福祉会ななふく苑	36,000 円
(社福) 埼玉聴覚障害者福祉会ふれあいの里どんぐり	12,000 円
(社福) 神愛ホーム	20,000 円
(株) ウェルフェア	9,264 円
埼玉りそな銀行 越生毛呂山支店	14,500 円
友愛毛呂山	21,302 円
毛呂山町社会福祉協議会事務局・事務局取扱分	36,153 円
毛呂山町デイサービスセンター	5,000 円
あいあい作業所	7,000 円
赤い羽根カード資材費清算分	-100,000 円
合 計	395,376 円

赤い羽根共同募金街頭募金・募金設置協力店

寄付者・団体名	金額
武州長瀬駅・東毛呂駅街頭募金	5,405 円
ウイズもろやま福祉会館(歌と笑いのチャリティーショー)募金箱	9,324 円
産業まつり街頭募金(毛呂山町赤十字奉仕団)	33,164 円
産業まつり街頭募金募金箱	27,103 円
(株) ヤオコー 長瀬店募金箱	1,661 円
(株) バルク 毛呂山店募金箱	5,300 円
毛呂山町役場募金箱	1,173 円
ウイズもろやま福祉会館(社会福祉協議会)募金箱	1,779 円
毛呂山町デイサービスセンター募金箱	1,220 円
あいあい作業所募金箱	1,260 円
合 計	87,389 円

赤い羽根共同募金学校募金

寄付者・団体名	金額
あけぼの幼稚園	2,203 円
毛呂山小学校	3,977 円
川角小学校	5,484 円
泉野小学校	2,116 円
光山小学校	7,074 円
毛呂山中学校	18,567 円
川角中学校	14,109 円
埼玉平成中学校	12,799 円
埼玉平成高等学校 JRC 部	22,319 円
合 計	88,648 円

歳末たすけあい募金・団体寄付者

寄付者・団体名	金額
市場満願寺檀家信徒一同	47,000 円
飯能地区更生保護女性会	10,000 円
愛仕幼稚園	10,000 円
航空自衛隊入間基地隊員一同	30,000 円
(有) ケイアイ商会	10,000 円
毛呂山町社会福祉協議会事務局	4,040 円
合 計	111,040 円

歳末たすけあい募金 **1,988,748円**

歳末たすけあい募金個人大口募金

寄付者・団体名	金額
岡 一美	6,204 円
合 計	6,204 円

みなさまからお預かりした義援金は、共同募金会などを通し、全額被災された方へ配分されます。

- ・毛呂山町混声コーラス 一輪草様
- ・コーラス一輪草有志 & M M C 様 1,000円
- ・835円

東日本大震災義援金

《平成25年3月1日現在》

※各行政区の加入状況は、社協だより76号(平成24年12月20日発行)に掲載しております。

- ・PC・NEXT様
- ・パソコンの会若葉様
- ・パソコンの会ステップ様
- 《12月1日～3月1日までに加入頂いた方》
- ・ゆずの里ケーブルテレビ(株)様
- 【団体会員紹介】
- 【特別会員紹介】

- ・一般会員 5,706世帯
- ・特別会員 112件
- ・団体会員 61団体
- 《平成25年3月1日現在》

平成24年度 社協会員加入状況

◆ ボランティアセンターだより ◆

第1回

精神保健福祉ボランティア講座

(鳩山町社協と共催・全2回)

「心の病」と「ボランティアができること」について理解を深めるため、講義や交流体験を行いました！

『やさしく学べる精神保健福祉』1月17日(木)

講師◆地域活動センターのぞみ施設長 新井順氏



第一回目は臨床心理士でもある新井施設長による、経験談や具体例をもりこんだ講座で障害を持たれている方との付き合い方について、解りやすくお話しくださいました。

「精神障害」とは、誰もが突然起こりうる可能性があり、治療によっては回復の見込みのある病気の一つ。なかでも頻度が高く、100人に1人弱の割合で発症しているのが「統合失調症」です。その特徴と対応のポイントを、左記のように説明されました。

『統合失調症』の主な症状…

- ・ 幻聴(そら耳)・妄想(思い込み)
- ・ 錯覚(脳内現象) など

構えず、同じ目線で付き合って欲しい！

障害を抱える人は、自分を理解し、受け止めてくれる人”を必要としています。本人の「わかってもらえない！」のストレスが減るほど、病状や治療の経過に良い影響を与えます。

《受講者の感想》

無の心で相手の話を聞くことの難しさ、相手に少しでも近づくには自分を無にすることだと思いました。

第2回

『クッキング交流体験』

1月24日(木)

講座に続き、2回目は毛呂山町にある「障害者自立支援施設やすらぎ」の利用者さんたちと一緒に、調理しながら交流を深めていただきました。各調理台には人数分の食材だけを準備し、調味料はセンターテーブルに多種類セッティング。レシピは各メニューのおおまかな手順だけを記し、切り方や味付けはみなさんのお好みにおまかせ！調理中は、味付けや炒め加減などを話し合う声や、日常会話なども飛び交い、美味しそうなおいとお笑い声に包まれ、とても温かい雰囲気の中、クッキングタイムでした。

楽しいランチを済ませた後、みなさんで感想発表会を行いました。その一つに「多くを語らずの心も参考(大事)になりました。接する機会は大切かなと思っております。」との声。「今回の共同作業は、障害の有無関係なく、同じ気持ち(目線)で過ごせたのが良かった！」と好評頂き閉講いたしました。



野菜炒め
まぜご飯
コンソメスープ
リンゴ



『講座の振り返り…(感想発表)』



こどもたちのとりくみ

古切手

◎毛呂山特別支援学校福祉委員会のみなさんが、古切手を回収し、切り分け、整理した物を寄贈してくださいました。



【臥竜切手サークルさんへお渡し】



▲【分類方法】

台紙有り・台紙無し
日本切手・外国切手

上記の4つに分けた後、切手に沿ってハサミでまわりを切り揃える。

↓
埼玉県内の盲老人施設に贈られます。

ペットボトルキャップ&プルタブ

◎泉野小学校では、年間を通じてペットボトルキャップとプルタブを収集して、社協へ届けてくださいました。
《平成24年4月〜平成25年2月》

↓社協でお預かりした量↓

- ・ ペットボトルキャップ 39.1 kg
- ・ プルタブ 15.9 kg



たくさんのご協力
ありがとうございました！

ボランティア関係者連絡会議

『認知症サポーター養成講座』 1月31日(木)

年に一度行っている、社協に登録して下さるボランティアを対象にした、関係者連絡会議。今年度は毛呂山町役場高齢者支援課の職員の方を講師にお招きし、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。



▲脳トレ体操の様子

「認知症サポーター」とは、認知症についての理解を深め、日常生活の中で認知症の方やご家族と共に支え合うことを目的に厚生労働省が推進している事業です。

今回の講座では、認知症についての説明のほか、日常生活の中で起こりうることを題材にした、実践寸劇を行いました。どのような関わり方がよいのかなど、ボランティアさん同士で話し合う時間もあり、活発な意見交換が行われました。

▶ 情報交換の様子



講座終了後には、みなさんのボランティア活動内容の発表会を行いました。自分の活動以外の内容にお互い興味深々の様子でした。受講者のみなさま、ご参加ありがとうございました。

～ 食事したことを忘れた おじいちゃんへの対応の仕方～



悪い例

「食べたじゃない！」と強い口調で、おじいちゃんを責める。そうすると、覚えていないおじいちゃんは困惑してしまう。



良い例

「そうだね～」とうなづきながら、「楽しいテレビやってるかな？」と、おじいちゃんの気をそらせる。

おじいちゃん役(男性)



↑ 講座を受講してくれたみなさんには、認知症サポーターの証として「オレンジリング」が配られました。

ボランティア保険 加入・更新のお知らせ！！

ボランティア保険の加入・更新の時期になりました。

責任を持ってボランティア活動に臨むためにも、忘れずに手続きをしましょう。

対象 ボランティア活動をする個人、団体

※社会福祉協議会に届出、又は委嘱された活動

保証内容 ①傷害事故（活動中の急激・偶然・外来の事故によりケガをした場合）
②賠償事故（活動中の偶然な事故により他人にケガをさせたり物を壊した場合）

保険期間 加入日の翌日から翌年の3月31日まで

手続き 毛呂山町社会福祉協議会（ボランティアセンター） TEL. 295-3111

お知らせ

『友愛毛呂山スタッフ募集』

住民参加型在宅福祉サービスグループ「友愛毛呂山」では、介護保険で自立と判断された高齢者や産前産後の方など、困っている方を対象に在宅福祉サービス活動をしています。利用したいという方が増えている一方、活動する仲間が不足しています。つきましては「友愛毛呂山説明会」を開催しますので、興味のある方は是非ご参加ください。

日時 4月11日(木) 13時～14時
場所 ウイズもろやま(福祉会館)
申込み・問合せ 友愛毛呂山
 ☎090(5324)3399

『第10回わくわくコンサート』

2月16日(土)に東公民館で、あいあい作業所・あいあい滝ノ入作業所による第10回わくわくコンサートが開催されました。

今年のテーマは『絆×メロディーでつながれ!』お客様と利用者とのひとつになった歌声が響いていました。



『不要入れ歯で世界の子どもたちを救えます』

入れ歯などについている希少性の高い貴金属を集めてリサイクルし、その収益を世界の子どものためのために寄付しているNPO法人日本入れ歯リサイクル協会と毛呂山町社会福祉協議会が協力を結び実施しています。収益は事務費を除いた40%ずつが日本ユニセフ協会と毛呂山町社会福祉協議会に寄付されます。社協に寄付されたお金は町内の地域福祉推進に生かされています。

【リサイクルできるもの】



【寄付の方法】

- ①熱湯や洗剤で洗浄、消毒する。
- ②回収ボックスへ専用ビニール袋に入れて投函。

【回収ボックス設置場所】

- ・ウイズもろやま(福祉会館)
- ・毛呂山町老人福祉センター山根荘

問合せ 毛呂山町社会福祉協議会

☎(295)3111

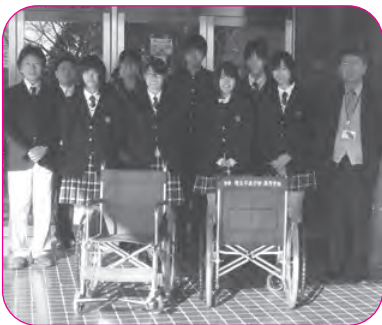
寄付

みなさまからお寄せいただいた寄付金及び寄贈品は次のとおりです。これらの寄付は、地域で役立つ社会福祉事業に使わせていただきます。

【3月1日現在、順不同、敬称略】

- ・西入間遊技業防犯協力会 50,000円
- ・福正寺 30,000円
- ・愛仕幼稚園保護者の会 10,000円
- ・柴崎 安男 20,000円
- ・ゆず狩りウォーキング大会チャリティ募金 1,900円
- ・ゆずの里ケーブルテレビ(株) 50,000円
- ・(株)ベルク毛呂山店 38,557円

寄贈



埼玉平成中学校・高等学校生徒会より
車イス2台

善意をありがとうございました。

社会福祉法人

毛呂山町社会福祉協議会

ウイズもろやま(毛呂山町福祉会館)内

〒350-0465 埼玉県入間郡毛呂山町岩井西5丁目16番地1

TEL: 049-295-3111 FAX: 049-295-7258

URL <http://www.moroyama-shakyo.or.jp/>

《ご利用時間》

月曜日～金曜日 / 8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)

毛呂山町社協 検索

